

経営比較分析表（令和元年度決算）

香川県 土庄町

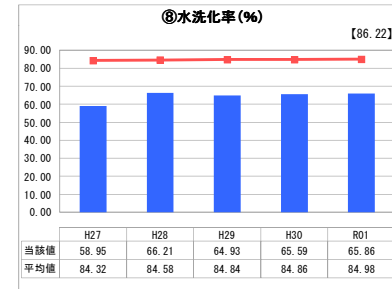
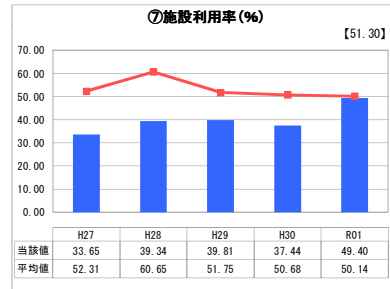
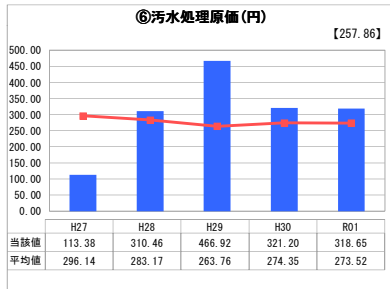
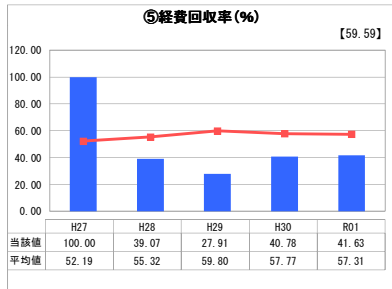
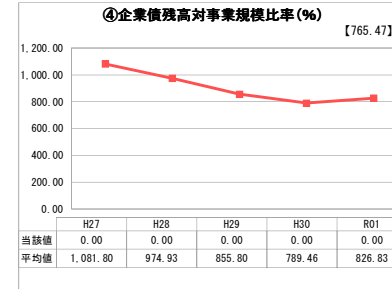
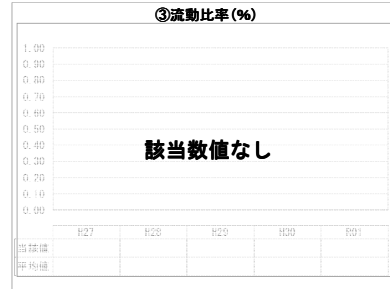
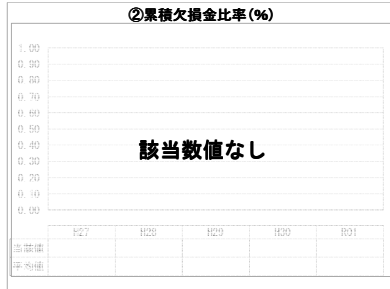
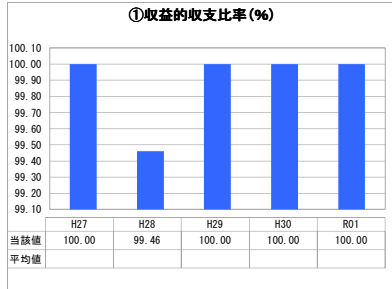
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.43	93.52	3,050

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,740	74.38	184.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
331	0.23	1,439.13

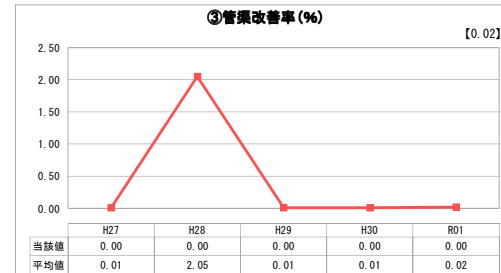
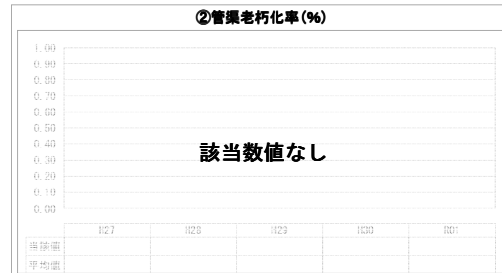
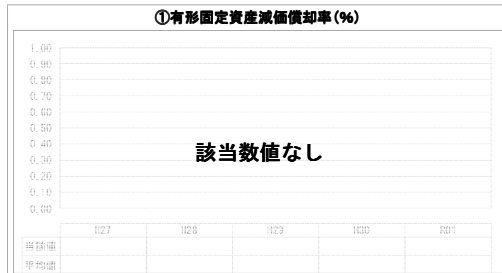
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率は、農業集落排水施設使用料を維持管理費で除したものである。令和元年度の経費回収率は41.63%であり、平成29年度及び平成30年度と比較すると上昇している。しかしながら、この回収率は、その他の団体の平均値と比較しても低い状態にある。その要因として、施設の修繕や水質等の管理の委託料といった費用が発生しているが、それらの費用を補うだけの施設使用料の徴収をしていないためである。

また、経費回収率の残り58.37%は、一般会計からの繰入であり、その繰入金で農業集落排水事業の運営を実施している。

これらのことから、農業集落排水施設の使用料の改定は避けられない状態にあるため、住民説明会等を行い、使用料の改定に繋げていきたい。

2. 老朽化の状況について

平成29年度に最適整備構想を作成し、その結果を踏まえ、計画的に施設修繕を行っている。

大規模修繕が必要な部分（マンホールや調整槽等の防食修繕など）については、機能強化（国庫補助）事業等を活用し、改修を行っていききたい。

また、機械の修繕などの小規模な修繕についても毎年点検を行い計画的に修繕を行っていききたい。

全体総括

経営戦略を令和2年度に策定しており、その中で、人口減少により毎年使用料が減少されると予想されている。コロナ禍による説明会等の実施が困難な状態にあるが、積極的に使用料の改定に取り組んでいきたい。

また、使用料の改定だけでなく施設の維持管理委託費等についてもできるだけ抑えるような方向で検討していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。